測量、建設コンサルタント等事業者 入札参加資格審査申請について (令和8、9年度版 県内業者)

第1 入札参加資格制度について	2 -
(1)市町村入札参加資格を共同で受付	2 -
(2)入札参加資格の有効期間	2 -
(3)申請方法·申請期間	
(4)コンサルタント業に係る法定登録	2 -
(5)コンサルタント業に係る大臣登録	3 -
(6)測量、建設コンサルタント等事業者の入札参加資格者の要件	3 -
(7)その他の注意点	3 -
第2 申請方法等について	4 -
(1)申請方法	4 -
(2)IDとパスワードについて	
1. 継続して申請をする場合	
2. はじめて入札参加資格を申請する場合	5 -
(3)添付書類について	
(4)入札参加資格申請システムの入力画面について	6 -
1. ログインの方法	6 -
2. 申請方法	
第3 資格決定通知書·残留措置·希望区域登録	
(1)資格決定通知	
第4 入札参加資格の変更・資格の取消し	
(1)入札参加資格の変更	
(2)入札参加資格の取消し	
第5 入札参加資格の再審査・相続等による承継・事前認可	
(1)入札参加資格の再審査	23 -
1. 審査基準日	23 -
2. 提出書類	
3. 審査方法	24 -
(2)その他の再審査	
1. 審査基準日	
2. 提出書類	24 -
3. 審査方法	24 -

# 第1 入札参加資格制度について

(入札参加資格の申請方法の説明は「第3 申請方法等について」を参照ください)

## (1)市町村入札参加資格を共同で受付

高知県だけでなく、県内全市町村(高知市上下水道局を含む。)の入札参加資格を申請できます。なお、審査については、**高知県が一括して審査**します。

高知県が審査したものを、申請先の市町村に共有します。

# (2)入札参加資格の有効期間

これまでの運用と変わらず、資格有効期間は<u>2年間</u>。 なお、中間年の申請(※)における資格有効期間は<u>1年間</u>となります。 ※中間年の申請は、新規申請や登録追加、業種追加の申請をいいます。

#### (3)申請方法・申請期間

「<u>高知県入札参加資格共同電子申請システム</u>」を使用して、申請してください。 リンクはこちら⇒ https://shinsei.pref.kochi.lg.jp/

申請期間は、申請日の属する年度の <u>12 月 1 日から県庁の年内最終開庁日まで(利用時間:8</u> 時~22 時)。なお、補正期間は翌年の 1 月 31 日までとします。

# (4)コンサルタント業に係る法定登録

以下の業種については、法律で登録が義務づけられていることから、県内事業者、県外事業者問わず、登録があることの確認を行います。

業種名	関係法令
測量業務全般	測量法第 55 条
建築関係コンサルのうち、建築一般、意匠、構造	建築士法第23条
補償関係コンサルのうち、不動産鑑定	不動産鑑定評価法第2条
補償関係コンサルのうち、登記手続き等	土地家屋調査士法第6条
	または、司法書士法第6条
その他の土木関係のうち、環境調査	計量法第 107 条及び同施行令第 28 条(「音圧レ
	ベル」、「振動加速度レベル」のいずれかの保有)
	<u>※事業者としての登録があれば申請可能</u>
その他の土木関係のうち、水質等分析	計量法第 107 条及び同施行令第 28 条(「濃度」
	の保有)
	<u>※事業者としての登録があれば申請可能</u>

※「事業者としての登録」とは、会社単位で登録を受けていることを指します。

## (5)コンサルタント業に係る大臣登録

法律で登録義務のない一部の建設コンサルタントの事業は、建設業と違って、行政庁による許認可がなくても営業することができますが、以下の場合について登録を受けていることを要件としています。ただし、<u>高知県内</u>に本社が所在するコンサルの場合、前述の法定登録義務があるものを除き、大臣登録は必須ではありません。

# (6)測量、建設コンサルタント等事業者の入札参加資格者の要件

- ① 審査基準日までに法律上必要な資格を得ていること。
- ② 審査基準日の前日(令和7年9月30日)までに納期限が到来した税金に滞納がないこと。
- ④ 個人住民税特別徴収実施申告(誓約)ができること。
- ⑤ その他、高知県測量、建設コンサルタント等業務競争入札参加資格審査要綱の第3条第4 項第1号のエからキまでに掲げる欠格要件のいずれにも該当しないこと。

## (7)その他の注意点

高知県入札参加資格共同電子申請システムに入力されたメールアドレスは、指名通知だけでなく、建設業の支援等を行うための事業に関して情報提供を行う際に活用することがございますので、ご了承のほどお願いします。(例:各種研修会の案内、制度改正の通知、県が行う事業で建設業者への支援等に資する情報提供等)

# 第2 申請方法等について

#### (1)申請方法

高知県入札参加資格共同電子申請システム(以下「入札参加資格申請システム」と呼ぶ。URL: https://shinsei.pref.kochi.lg.jp/)により申請します。

なお、高知県庁の土木政策課のホームページにおいて、以下のバナーを押下しても、入札参加 資格申請システムにアクセスできます。

(バナー)



#### (2)ID とパスワードについて

入札参加資格の申請にあたっては、ログインをするための ID とパスワードをあらかじめ取得することが必要となります。

#### 1. 継続して申請をする場合

継続して入札参加資格を申請する事業者にあっては、<mark>前回申請時に使用した ID とパスワー</mark> ドを使用 してください。

(注意点)

#### 1 | (特に注意!!)

ログインの際に、ID・パスワードを何度も間違えると、ID ロックがかかります。 パスワードを忘れた場合や、二、三度ログインに失敗する場合は、

ID・パスワード入力項目下の「パスワードをお忘れの方はこちらへ」を押下するか、 「パスワード確認申請」(URL: https://shinsei.pref.kochi.lg.jp/nyusan-userside/dgn05/dg n050201)から確認を行ってください。

- §. 行政書士に入札参加資格の申請を依頼している場合は、申請用メールアドレスが行政書士のメールアドレスになっている場合がございますのでご注意ください。
- §.パスワード確認申請で用いる「秘密の言葉」はその場で決めてもらって大丈夫です。

万が一ロックがかかった場合は、高知県庁土木政策課までお問い合わせください。

- 2 ID 通知書に記載された初期パスワードは、一番最初のログイン時点で変更するよう促されます。変更後のパスワードについて、高知県庁やヘルプデスク等に問い合わせを行っても回答いたしかねますので、ご了承ください。
- 3 一業者につき付与できる ID は一つまでなので、すでに ID が付与されている事業者から新規申請があっても新しい ID は発行できません。
- 4 ID 通知書をなくしたり、パスワードを忘れた場合、「高知県電子申請サービス」での ID の発行の申請では当該トラブルに対応できません。
  - ID 通知書をなくした場合は、高知県庁土木政策課のメールアドレス(170201@ken.pref.k ochi.lg.jp)まで、<mark>紛失した旨・業者名・本社所在地を入力したメール</mark>を送付し、パスワードを忘れた場合は、注意点 1 番を参照し、ご対応ください。

#### 2. はじめて入札参加資格を申請する場合

はじめて入札参加資格を申請する場合には、電子申請システムを利用するための ID とパスワードを取得する必要がありますので、まずは「高知県電子申請サービス」(URL: https://appl y.e-tumo.jp/pref-kochi-u/offer/offerList\_initDisplayResult)から、付与申請を行ってください。

<u>県外建設工事業者の ID 新規付与受付期間は、8月1日~12月20日です。</u>

(注意点)

- 1 <u>令和5年度の入札参加資格を保有していた事業者に対しては、令和6、7年度入札参加</u> 資格申請に際して、あらかじめ ID とパスワードを付与しています。
  - そのため、該当する事業者から新規申請があった場合については、新規で ID とパスワードを発行せず、令和 5 年 10 月頃に郵送した ID 通知書をご確認いただきますようお願いします。
  - ID 通知書を紛失した場合、高知県庁土木政策課のメールアドレス(170201@ken.pref.koc hi.lg.jp)まで、<mark>紛失した旨・業者名・本社所在地を入力したメール</mark>を送付してください。
- 2 付与申請後、電子申請サービスから「整理番号」と「パスワード」が記載されたメールが 届きますが、こちらは入札参加資格申請システムの「ID」、「パスワード」と異なりますの で、ご注意ください。
- 3 付与申請後、最短で1週間ほどで申請されたメールアドレス宛に利用者通知書を送付します。(業務状況や申請状況により異なりますのでご了承ください。)

#### (3)添付書類について

令和 6、7 年度の入札参加資格より、インターネット申請が可能になったことから、ほとんどの入力項目を画面から入力できるようになりました。

なお、以下の書類については、基本情報入力画面にて添付を要するものです。

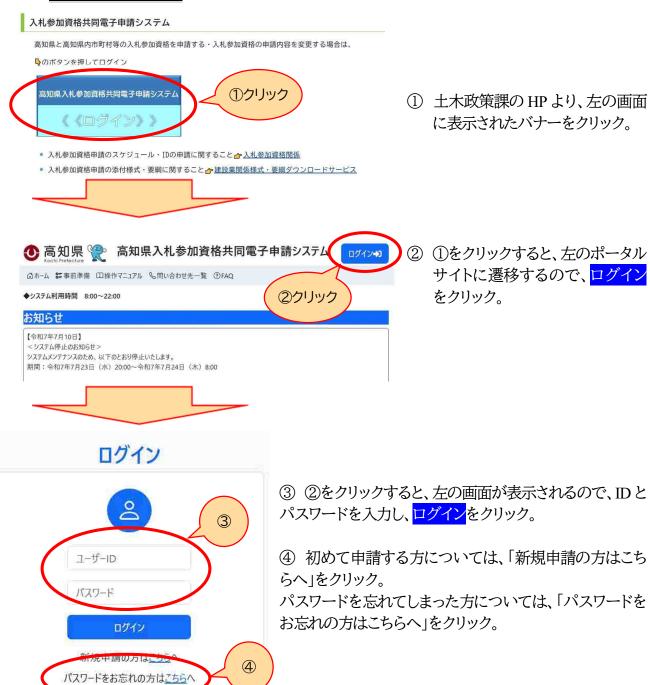
1	営業に関する登録の証明書
2	国税の納税証明書(法人の場合はその3の3、個人の場合はその3の2)
3	本社所在地の都道府県税の納税証明書
4	本社所在地の市町村税の納税証明書
5	商業登記簿謄本
6	コンプライアンス基本方針 ※1
7	財務事項一覧表または税務申告に添付している財務諸表(2期分)
8	調査票 ※2
9	年間委任状 ※3

- ※1 前回申請と変更がない場合は提出不要ですが、新しく策定した場合と、内容に変更があった場合は提出を要します。
- ※2 建築一般の部門を申請する場合に提出します。
- ※3 従たる営業所に入札・見積もり・契約等の権限を委任する場合に提出します。

# (4)入札参加資格申請システムの入力画面について

(注意)以下掲載の画像は開発中のものであり、実際の画面と異なる場合がございます。

## 1. ログインの方法



### 〈初めてログインをする方〉

土木政策課より発出された通知書の仮パスワードは、一番最初のログインにおいて、以下の画面により変更を求められます。以降は、ここで設定したパスワードを使用することとなりますので、お忘れにならないよう十分にお気をつけください。

パスワードは8~20文字、2種類以上の文字 使用可能文字は、英大文字、英小文字、		
使用可能文字は、英大文字、英小文字、 記号(!"#\$%&'()*+,/:;<=>?@[]^_'{[}~		
ユーザーID	39000001	
変更前パスワード	3	
変更後パスワード	3	
変更後パスワード (確認用)	3	
	変更する 〉	

※注意:仮パスワードと同じものは使えません。

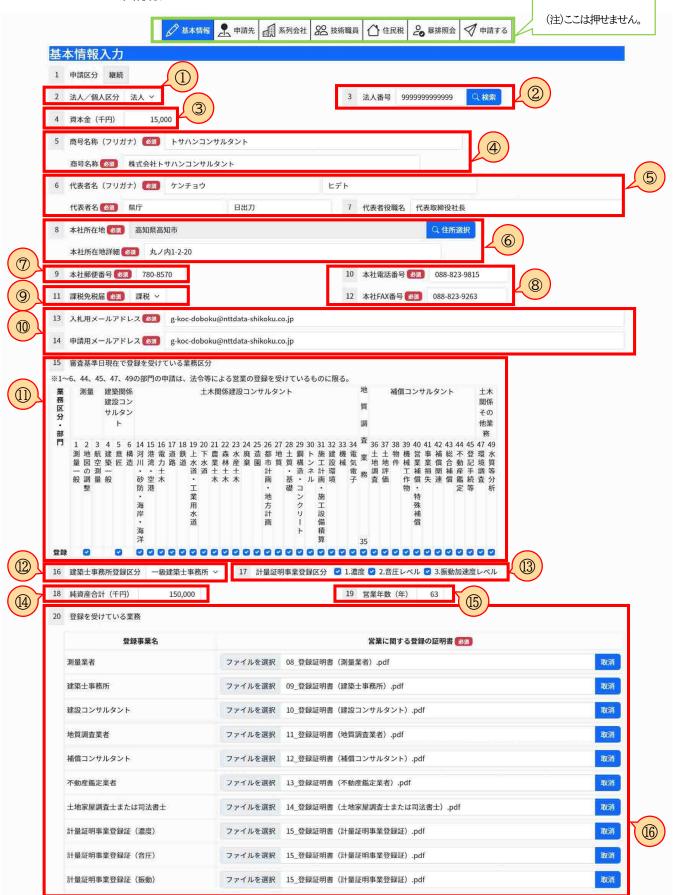
# 2. 申請方法 〈トップ画面〉



- ①: 土木政策課より差し戻しがあった場合に、お知らせをするバナー
- ②:現在の審査状況を確認できます。
- ③:システム添付資料等についてのお知らせが掲載されます。添付ファイルがある場合がありますので、別途ご確認のうえご活用ください。
- ④:定期申請、中間年申請を行う項目です。操作方法は、次の〈定期申請、中間年申請の方法〉に おいて説明いたします。
  - なお、中間年における業種追加は、⑤の変更届で申請する必要があるのでご注意ください。
- ⑤:変更申請を行う項目です。詳しくは、「第 5 入札参加資格の変更・資格の取消し」をご覧ください。
- ⑥:資格決定通知をダウンロードできる画面に遷移します。ただし、<mark>高知県の入札参加資格に係る結果通知書しか確認できません</mark>のでご注意ください。各市町村に係る結果通知書については、個別の市町村にご確認ください。
- ⑦:高知県以外の各市町村が個別で求める追加附帯資料を送付できます。どのような資料をどの市町村が必要としているかは、③の項目の中の「【2025 年 05 月 15 日】自治体別追加附帯 資料について」をご確認ください。

#### 〈定期申請、中間年申請の方法〉

I. 基本情報



- (1):法人、個人事業主の区分を選択します。
- ②:法人番号を入力します<u>(法人のみ)</u>。正しい法人番号を入力し、<mark>検索</mark>ボタンを押下すると、自動的に④、⑥、⑦が入力されます。
- ③:資本金を千円単位で入力します。
- ④:商号名を入力してください。
- ⑤:代表者名を入力してください。なお、役職名についてテンプレートも準備していますが、10字 まで自由に入力することが可能です。
- ⑥:本社所在地の住所を入力してください。グレーアウトした部分には入力できないので、<mark>住所検索</mark>ボタンを押下し、自社の住所を検索してください。
- ⑦:本社の郵便番号を入力してください。なお、⑥で住所検索をした際に自動的に入力されます。
- ⑧:電話番号と FAX 番号を入力してください。なお、FAX 番号が存在しない場合、お手数ですが「999-999-9999」と入力し申請ください。
- ⑨:免税が課税かを選択してください。
- ⑩:メールアドレスを入力してください。<mark>入札用メールアドレスは、指名通知を受け取るなど、実際の入札で用いるアドレス</mark>、申請用メールアドレスは、本システムで使用するもので、パスワード確認申請や審査差し戻し情報の提供を受けるためのアドレスです。
- ①:審査基準日時点で法定登録又は大臣登録を受けた業種を選択してください。<a href="mailto:z=click-tilde">ここは業種の申請をする箇所ではないのでご注意ください。</a>
- ②:①で建築関係建設コンサルタントを選択した場合に表示されます。一級建築士事務所、二級 建築士事務所、木造建築士事務所のいずれかを選択します。
- ③:土木関係その他業務の「環境調査」又は「水質等分析」を選択した場合に表示されます。該当 する計量証明事業登録を選択してください。
- ⑭:次の表にならって、審査基準日の直前決算の「自己資本額」を入力して下さい。

法人	貸借対照表 純資産の部「純資産	合計」の額を入力して下さい。
個人	「青色申告」で申告している者	以下の計算をした金額を入力する。 元入金+青色申告特別控除前の所得金額 +事業主借-事業主貸
	  「白色申告」で申告している者 	自己資本額は空白とする。

- ⑤:審査基準日時点の営業年数を入力してください。1 年未満の端数は切り捨てとします。
- ⑩:⑪~⑬で選択した業務について、当該業務の営業に関する登録の証明書を添付してください。 なお、登録証明書が複数ある場合には、一つのデータにして添付してください。
- (注)支店・営業所等に入札・契約等の権限を委任する場合(以下、「入札契約等権限を委任する場合」という。)で、1~3測量業務全部門、4建築一般、5意匠、6構造、44不動産鑑定業務、45登記手続等に係る入札契約等権限を委任する場合には、本社の登録証と併せて、支店・営業所等に登録があることを証明する書類(測量法第55条の8の規定に基づく書類(1ページ目)や、現況報告書別紙や、支店の登録証等)も必要です。



- ①:管理部門、営業部門などを除き、コンサルタント業務に従事する技術職員の人数を入力してく ださい。
- 18:納税証明書を添付してください。

国税 ........「<u>その3の3(法人)」</u>、「<u>その3の2(個人)</u>」

県税 ....... 主たる営業所が所在する都道府県の「滞納していないことの証明」

市町村税 主たる営業所が所在する市町村の「滞納していないことの証明」。

- ⑨:申請者が法人の場合には、商業登記簿謄本を添付してください。申請者が個人の場合には、 代表者の身分証明書(市町村長の証明)を添付してください。
- ②:高知県発注の地質調査業務において、複数の県内事業者が談合を行っていたことが公正取引委員会により認定されたことを踏まえ、令和5年度に実施する資格審査(令和6、7年度資格)からコンプライアンス基本方針の策定を入札参加資格申請の要件としています。

前年度より継続して申請する事業者で、コンプライアンス基本方針の内容に変更がない場合、「変更なし」を選んでください。その場合、基本方針の添付は不要です。また、前年度の内容に変更がある場合、「変更あり」を選んだうえで基本方針の添付をしてください。なお、今年度から新たに申請を行う事業者は一律「新規作成」を選び、コンプライアンス基本方針を作成のうえ、添付してください。(コンプライアンス基本方針は HP にひな形を用意しています。企業規模に応じた内容でご提出ください)

②:前回申請の際に記載いただいた取り組み目標が自動的に入力されていますので、その目標に関して、どのような取り組みを実施したか記載してください。なお、前回宣言した内容について、今回の申請において、取り組みが確認できなかった場合は、高知県の HP で事業者名を公開します。

また、次回の申請に向け、どのような取り組みを実施していくかも記載してください。

- ②:行政書士による代理申請を行った場合に、行政書士が入力する項目です。職印を捺印した委任状の添付とメールアドレスの入力をしてください。入力いただいたメールアドレスに対しても審査差し戻し情報や受付情報の送付をいたします。
- (※)許可情報:現在の許可情報が自動的に反映されます。許可行政庁に対して変更届を提出している場合、変更届の審査が完了しないと従前の情報が表示されます。(県外の場合、許可情報の変更完了から、概ね 2、3 週間程度時間を要します。)

#### II. 申請·委任先選択

申請・委任先選択	
☑ 高知県 ○ 委任なし ◎ 全委任	
☑ 高知市 ○ 委任なし ○ 全委任	☑ 高知市上下水道局 ○ 委任なし ○ 全委任
☑ 室戸市 ○ 委任なし ◎ 全委任	☑ 安芸市 ○ 委任なし ◎ 全委任
☑ 南国市 ○ 委任なし ○ 全委任	☑ 土佐市 ○ 委任なし ○ 全委任
☑ 須崎市 ○ 委任なし ○ 全委任	❷ 宿毛市 ○ 委任なし ○ 全委任
☑ 土佐清水市 ○ 委任なし ○ 全委任	☑ 四万十市 □ 委任なし ● 全委任
☑ 香南市   委任なし ○ 全委任	☑ 香美市   委任なし ○ 全委任

<u>どの自治体に申請をするか選べます</u>。ご自身の経営判断において、どの自治体の入札参加資格を得たいか選んでください。

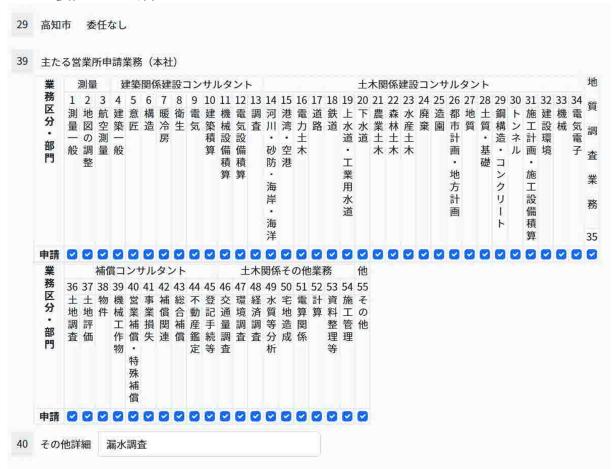
なお、申請業種は次の画面で申請します。

### (内容の解説)

申請内容	解説
委任なし	本社(主たる営業所)だけで入札・契約を行うこと
全委任	支社・支店(従たる営業所)だけで入札・契約を行うこと

#### III. 営業所・申請業種選択

A.委任なしの場合



申請したい業種を選択してください。

ただし、法定登録又は大臣登録がないとチェックを入れられない項目がありますのでご注意く ださい。

#### B.委任ありの場合



「II. 申請・委任先選択」で「全委任」かを選ぶと、<mark>営業所追加</mark>のボタンが表示されます。



- ①:営業所の郵便番号を入力してください。なお、②で住所検索をした際に自動的に入力されます。
- ②:本社所在地の住所を入力してください。グレーアウトした部分には入力できないので、<mark>住所検索</mark>ボタンを押下し、自社の住所を検索してください。
- ③:営業所の名前、フリガナを入力してください。
- ④:営業所長、支社長の名前、フリガナ、役職名を入力してください。
- ⑤:電話番号と FAX 番号を入力してください。なお、FAX 番号が存在しない場合、お手数ですが

「999-999-999」と入力し申請ください。

- ⑥:メールアドレスを入力してください。このメールアドレスは、<mark>委任先の営業所が指名通知を受</mark> **け取るなど、実際の入札で用いるアドレス**になります。
- ⑦:委任先の営業所において申請する業種を入力してください。

#### IV. 財務諸表添付



- ①:審査基準日の「直前1年度」及び「直前2年度」の事業年度に係る完成業務高について千円未満切り捨て、<u>税抜き(免税事業者は税込みでも可)</u>で入力して下さい。また、決算期変更の場合等は、完成業務高を按分するなどして12ヵ月相当分に換算して入力して下さい。
- ②:財務諸表等(審査基準日の「直前1年度」及び「直前2年度」の事業年度分)を、次の表の通り、申請業務ごとに添付してください。

法人	1	「現況報告書のうち、地方整備局の受付印が押されたページ(表紙)」及び「現況報告書のうち、財務事項一覧表」
	2	税務申告に添付している財務諸表(損益計算書及び貸借対照表)
	1	国へ提出した「損益計算書」及び「貸借対照表」
個人	2	税務申告に添付している財務諸表(【青色申告決算書または白色申告書】及び【確 定申告書B(第一表及び第二表)】

- ※原則、法人、個人とも 1 の提出が必要です。ただし、<u>法定登録又は大臣登録を受けている業務</u> <u>を選択していない</u>等の理由で、業務ごとに財務事項一覧表を添付できない場合は、2 を合計欄 に添付してください。
- ※登録のあるものとないものを併せて申請しようとする場合、登録のある業務については、添付項目が出現しますが、登録のないものについては添付項目が出現しません。この場合は、登録のある業種の添付項目に、登録のないものをセットで添付してください。
- ③:建築一般部門を申請する場合、アピール・特徴等を記載した調査票を添付してください。

#### V. 委任状入力



- ①:委任状を添付します。<u>複数自治体に申請をする場合、委任状の宛名を「申請先自治体の長」としておまとめください</u>。(個別で高知県知事、市町村長名又は高知市上下水道局管理者に出す場合は、申請先自治体数に応じて委任状を追加してください。)
  - 委任状において、特に気をつけていただきたい点は次のとおり
    - ○代表者、受任者の押印をする
    - ○受任者が営業所長の名前と同一になっているか
    - ○委任する権限のうちに、「見積・入札」の権限と、「契約締結」の権限が含まれているか
    - ○委任期間が、入札参加資格の期間と一致しているか



- (1):自社から見て、親会社に当たる測量、設計コンサルタント等事業者を入力してください。
- ②: 自社から見て、子会社に当たる測量、設計コンサルタント等事業者を入力してください。
- ③:<u>自社の役員が他の測量、設計コンサルタント等事業者の役員を兼任している場合</u>に入力して ください。

# VII. 技術職員入力

# 技術職員入力

#### 54 技術職員名簿

有資格名称	湖	則量士			測量	<b>士補</b>																	
資格保有者数		1																					
有資格名称	一般	及建築士	3	i	二級	建築士	=	7	k造	建築士	÷	廸	鲜	設備	±								
資格保有者数		1																					
有資格名称	技術士	(河砂)	毎)	技術	± (	港湾的	⊒港)	技術士	<b>E</b> (	電力士	木)	技術	ή±	(道	路)	技術	析士	(鉄)	道)	技術	ij±	(上水	工水)
資格保有者数																							
有資格名称	技術士	(下水)	道)	技術	± (	上業場	:木)	技術士	t (	森林土	:木)	技術士	Ė	都計	地計)	技術:	± (	応用	地質)	技術	ij±	(土質	基礎)
資格保有者数																							
有資格名称	技術士	(鋼構コ	ン)	技術	± (	トンキ	いい	技術士	Ŀ (	施計程	(算)	技術士	-	建設	環境)	技術	析士	(機	械)	技術	ij±	(電気	電子)
資格保有者数						1																	
有資格名称	技術士	(情報工	学)	技術	± (	水産士	(木	技術	行士	(以外	()		技	析士権	i								
資格保有者数																							
有資格名称	RCCN	4 (河砂	海)	RCC	М	(港湾	空港)	RCC	М	(電力:	土木)	R C	С	V (道	(路)	R C	CI	/ (왨	(道)	R C	СМ	(上才	k工水
資格保有者数		2												5									
有資格名称	RCCM	/ (下水	(道)	RCC	М	(農業	土木)	RCC	М	(森林:	土木)	RC	C	VI (造	園)	RCC	M	(都計	地計)	R	СС	M (均	也質)
資格保有者数																		3				4	
有資格名称	RCCM	(土質	基礎)	RCC	М	(鋼構	コン)	RCC	М	(トン:	ネル)	RCC	M	(施計	積算)	RCC	М	(建設	環境)	R	сс	M (核	後械)
資格保有者数		4																					
有資格名称	RCCM	(水産:	土木)	RCC	М	(電気	電子)	RCC	М	(廃棄	[物]	RCC	M	(建設	(情報)								
資格保有者数		2																					
有資格名称	地質	調查技	±																				
資格保有者数		1																					
有資格名称	補償管士	(土地)	調査)	補償管	生	(土地	評価)	補償	管:	上(物	件)	補償管	±	(機材	太工作)	補償管	ŧ±	(営補	特補)	補償	管士	(事業	[損失]
資格保有者数																							
有資格名称	補償管士	(補償	関連)	補償管	士	(総合	補償)																
資格保有者数						1																	
有資格名称	一級土木	施工管理	理技士	環境	計量	士 (湯	護度)	環境計	±	(騒音	振動)	第一種	電	気主任	E技術者	第一程	伝3	を主任	技術者	*	路	E任技	術者
資格保有者数		3				1				1													
有資格名称	不動	産鑑定:	±	不	動産	鑑定士	:補	土均	也家	屋調査	ŧ±		司	去書士									
資格保有者数	The second	1								1													

それぞれの資格ごとに、自社に在籍している職員が保有している数を入力してください。

#### VIII. 住民税特別徴収



- ①:個人住民税の特別徴収をしている場合に選択します。個人住民税を特別徴収するべき従業 員がいるにもかかわらず、個人住民税を特別徴収するための手続を申請日までに行ってい ない者は、入札参加資格を申請できませんので、原則、継続して入札参加資格申請を申請す る者は、1番を選択する必要があります。
- ②:新規事業主などにあって、審査基準日までに地方税法第321条の4により特別徴収義務者の指定通知を受けていない場合に選択します。
- ③: 県内の事業者で、高知県内の市町村において個人住民税を特別徴収すべき従業員がいない 場合に選択します。
- ④: 県外の事業者で、高知県内の市町村において個人住民税を特別徴収すべき従業員がいない 場合に選択します。

#### § 住民税の特別徴収とは§

1 従業員等の個人住民税の特別徴収とは

給与支払者(雇い主)が、給与所得者(従業員等)に給与を支払う場合には、所得税法の規定により、 その給与から所得税を源泉徴収(天引き)して、国に納めなければなりません。

個人住民税の特別徴収とは、雇い主が、従業員等に代わって、その従業員等が納めるべき個人住民税(市町村民税と県民税)を、所得税と同じように、給与から天引きして、市町村に納める制度です。(この場合の雇い主を個人住民税の「特別徴収義務者」といいます。)

所得税法第 183 条の規定によって、所得税を源泉徴収する義務がある雇い主(源泉徴収義務者)は、 地方税法第 321 条の 4 及び従業員の住所地の市町村の条例の規定により、原則として、個人住民税の 特別徴収義務者となります。

ここで、「従業員等」とは、一般の従業員だけでなく、事業所から所得税法上「給与所得」とみなされる役員報酬を得る役員や、青色事業専従者も含まれます。

ただし、申請者(雇い主)において特別徴収義務のあるのは、昨年中(審査基準日の属する年の1年前の1月1日~12月31日)に給与所得のあった従業員等であって、かつ、審査基準日の属する年の4

# 月1日時点で、申請者から給与の支払を受けることとなる者に限られます。 (例)

	前年の給与所得	今年1月1日時点 の 住所	今年4月1日の 給与所得	今年度における特別徴収の仕方
ア	A 社から	高知市	A 社から	A 社が特別徴収→高知市へ
イ	A 社から	南国市	A 社から	A 社が特別徴収→南国市へ
ウ	B社から	高知市	A 社から	A 社が特別徴収→高知市へ
エ	A 社から	徳島市	C 社から	C社が特別徴収→徳島市へ
才	無職	高知市	A 社から	前年に給与所得がないので、特別徴収しない
カ	A 社から	南国市	無職	年度初日に給与がないので、特別徴収しない

#### 2 個人住民税特別徴収の実施方法

所得税の源泉徴収義務者から、1月31日までに市町村に提出された前年分の給与支払報告書に基づいて、従業員等ごとの特別徴収すべき住民税の税額を市町村が計算し、原則として5月31日までに、特別徴収義務者に通知します。(地方税法第321条の4)

特別徴収義務者は、その通知に基づいて、各従業員等の毎月(6月~翌年5月)の給料から、特別徴収税額を天引きして、翌月10日までに市町村へ納めなければなりません。(地方税法第321条の5)

#### 3 申告(誓約)の作成の留意点

(1)本申告(誓約)は、申請者が、高知県内の市町村における上記の特別徴収義務を実施しているかどうかを確認するためのものです。

いずれの誓約も行わない場合、資格審査の申請をすることはできません。

- (2)この申告(誓約)は、審査基準日現在で作成し、該当の項目を選択してください。
- (3)前回の入札参加資格審査において「遅滞なく特別徴収を実施する」誓約を行ったにもかかわらず、 対象者がありながら個人住民税の特別徴収を実施していない場合、入札参加資格申請を受け付け ない又は入札参加資格を取り消す場合がありますので注意してください。
- (4)本申告(誓約)は、高知県税務課を経由して高知県内の市町村へ提供される場合があります。

#### 4 問い合わせ先

#### ◇ 住民税特別徴収制度について

高知県税務課(徴収担当)......TEL:088-823-9307 高知県市町村振興課(税政担当).....TEL:088-823-9316 従業員等の住所地の市町村役場住民税担当課

#### ◇ 住民税特別徴収の具体的な手続きについて

従業員等の住所地の市町村役場住民税担当課

## VII. 暴力団排除

	氏名	生年月日	性別	役職等	備
☑ 編集 □ 削除	県庁 日出刀	昭和49年4月2日	男	代表取締役	
区編集	高 知子	昭和63年5月14日	女	取締役	
区編集	土佐 二郎	昭和38年5月2日	男	取締役	
☑ 編集 □ 削除	高知 健太郎	平成 1年 6月12日	男	支店長	

#### §暴力団排除照会対象者

- 法人:役員等(業務を執行する社員、取締役、執行役若しくはこれらに準ずる者又は相談役、顧問 その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締 役、執行役若しくはこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者
- 個人:申請者自身。併せて、該当する場合には、支配人及び支店又は支店に準ずる営業所の代表者(支配人である者を除く。)

上に該当する者の「氏名」「生年月日」「性別(任意)」「役職等(任意)」を入力する。



上の画面が表示されたら申請完了です。

また、申請完了と同時に申請用メールアドレスに対して申請受付メールを送信します。(自動送信)

# 第3 資格決定通知書·残留措置·希望区域登録

## (1)資格決定通知

資格決定通知書は、3月後半に、高知県入札参加資格共同電子申請システムからダウンロードできます。

資格決定通知書が発行されると、入札参加資格申請の際に入力いただいたメールアドレスまで、通知書が発行された旨のメールが送付されますので、メールを受け取り次第、内容のご確認をお願いします。

(注)ただし、高知県に入札参加資格を申請した事業者が対象ですので、<u>市町村の入札参加資格しか申請していない場合</u>、本項目における資格決定通知書はダウンロードできません。 〈結果通知書確認方法〉



# 第4 入札参加資格の変更・資格の取消し

# (1)入札参加資格の変更

以下の申請内容については、年度途中の随時変更が可能です。

- (1) 商号又は名称
- (2) 所在地
- (3) 代表者
- (4) 郵便番号
- (5) 電話番号
- (6) FAX 番号
- (7) メールアドレス
- (8) 登録業種の削除
- (9) 支店名・支店所在地(従たる営業所)
- (10) 支店長·支社長

- (11) 業種取り下げ
- (12) 会社法上の親会社・子会社の関係
- (13) 技術職員の保有資格数

#### 【変更できないこと、変更の必要がないこと】

以下の申請が該当します。

- (1) 年度途中で業種追加はできません。
- (2) 年度途中で登録業種の追加はできません。
- (3) <u>高知県への申請</u>については、「委任なし」から「委任あり」に変更することはできません。 ※その他市町村等については、各市町村の入札、契約制度によりますので、各市町村 担当者までご確認ください)
- (4) 年度途中での役員等の追加の必要はありません。

## (2)入札参加資格の取消し

次に該当した場合は資格を取り消します。

- (1) 業務に関し法律上必要とする登録を取り消されたとき
- (2) 申請書類の重要な事項について故意に入力せず、又は虚偽の入力をしたとき
- (3) 要綱第3条第4項第1号のエからキまでのいずれかに該当することとなったとき(破産、 銀行当座取引停止等)
- (4) 入札参加資格を辞退したとき

# 第5 入札参加資格の再審査・相続等による承継・事前認可

## (1)入札参加資格の再審査

次の①から④に該当する場合は、随時資格審査を受けることができます(任意申請)。

- ①合併
- (2)分割または他の法人の分割による事業の全部若しくは一部の承継
- ③事業の一部の譲渡または他の有資格者からの事業の全部若しくは一部の譲受 (分割会社・譲渡会社が引き続き資格の一部を有する場合は、分割会社・譲渡会社も同時 に資格審査申請が必要)
- ④協業組合の設立 ※審査手続等については予めご相談下さい

#### 1. 審查基準日

合併、事業譲渡、会社分割等の翌日

#### 2. 提出書類

- (1)高知県測量、設計コンサルタント等業務競争入札参加資格再審査申請書類一式
- (2)合併、事業譲渡、会社分割等の契約書の写し
- ③合併等に係る総会議事録の写し
- ④合併、会社分割等後の登記簿謄本
- ⑤財務諸表

- ⑥納稅証明書
- ⑦営業に関する登録の証明書の写し
- ⑧その他の参考となる書類

#### 3. 審查方法

書面審查

## (2)その他の再審査

次に該当することとなった場合は、直ちに土木政策課建設業振興担当へ報告することとなっていますので、任意の様式により届出を行って下さい。再審査を受ける予定であれば、別に定める様式(合併等に関する届出書)により、届出をお願いします。実際の審査は、(2)の書類をととのえていただいてからになります。

(再審査を受けなければ、当分の間、指名等を差し控えることとなります。)

- ①会社更生法の手続開始の申立てを行った者
- ②特定調停の手続開始の申立てを行った者
- ③民事再生法の手続開始の申立てを行った者

# 1. 審查基準日

受審日によって異なりますので事前にご連絡下さい。

#### 2. 提出書類

- ①高知県測量、設計コンサルタント等業務競争入札参加資格再審査申請書類一式
- ②手続開始の決定書の写し
- ③貸借対照表及び損益計算書
- ④その他 参考となる書類

#### 3. 審查方法

面接審查